

経営比較分析表（平成30年度決算）

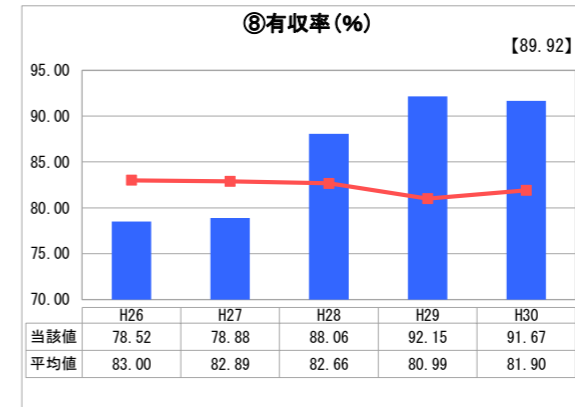
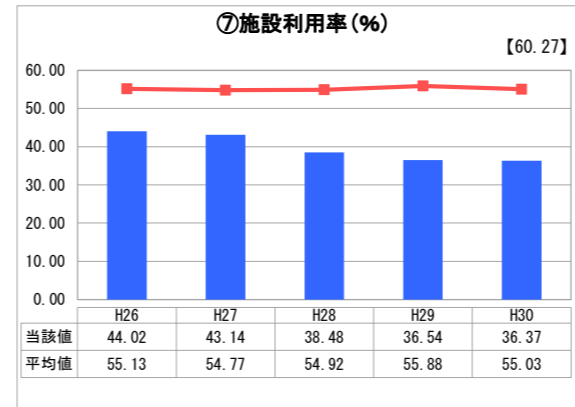
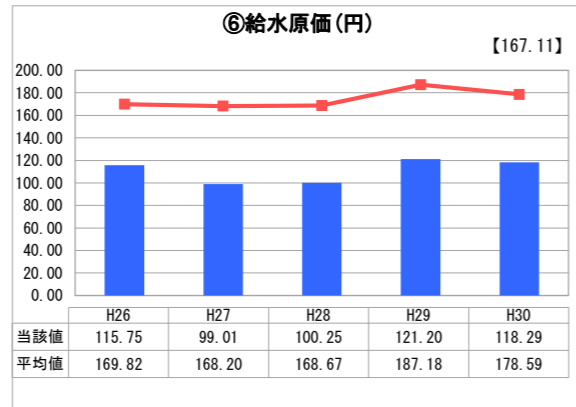
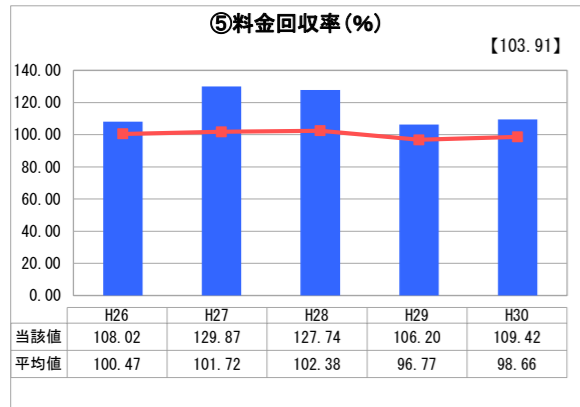
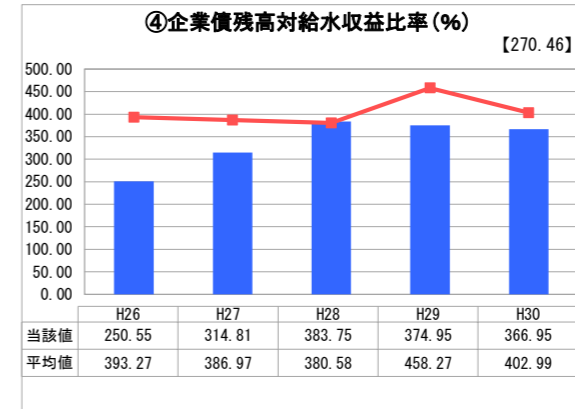
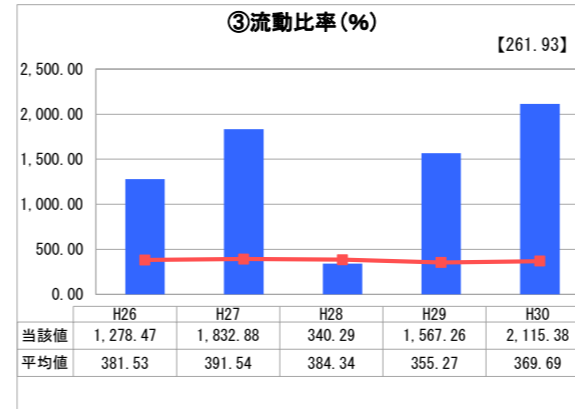
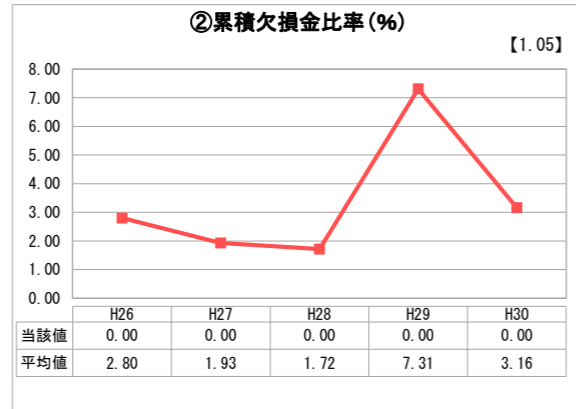
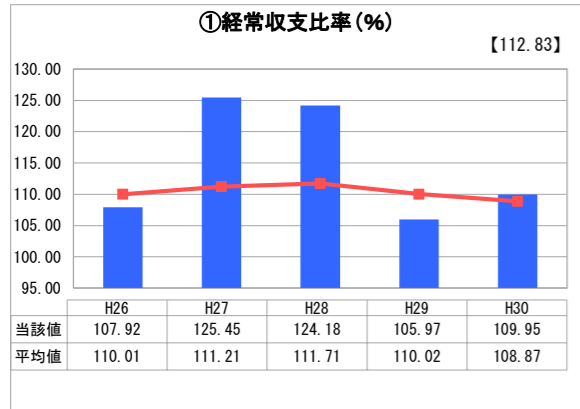
徳島県 松茂町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	80.80	100.00	2,130	

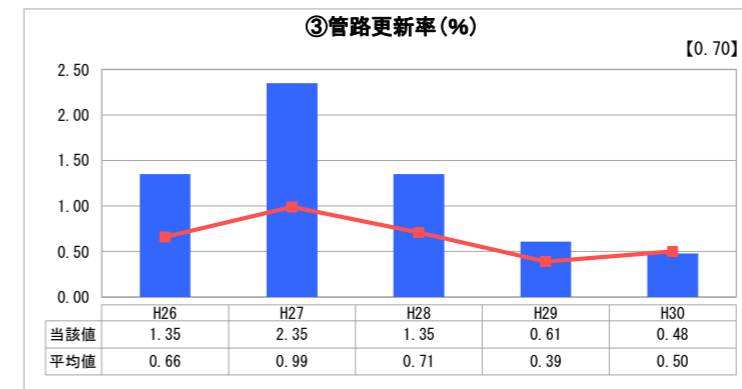
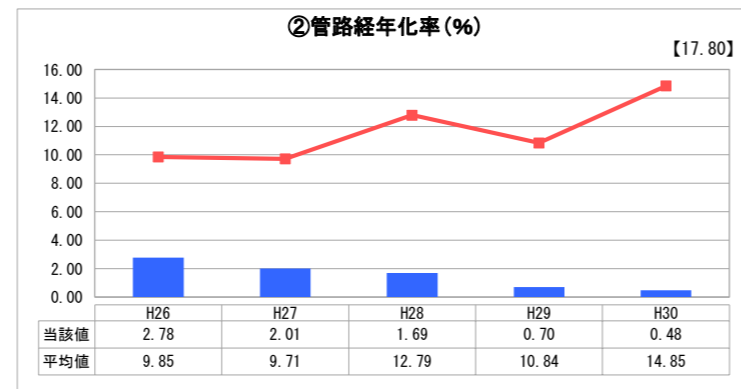
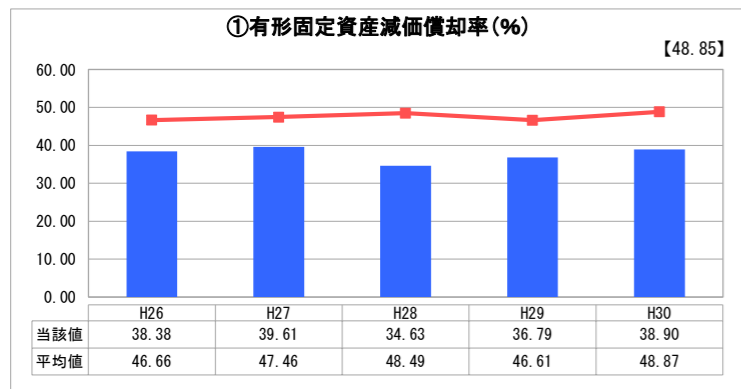
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,167	14.24	1,065.10
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
15,059	13.94	1,080.27

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 平成30年度における経常収支比率は109.95%（類似団体平均108.87%）であり、修繕費等の削減により前年度からは少し上昇し、類似団体平均も上回っています。
 ② 有収率：平成30年度は91.67%で、類似団体平均の81.90%を大きく上回っています。引き続き、配水管の老朽化対策などにより、有収率の維持・向上を目指します。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、今後も世代間負担の公平性を確保し、企業債の償還により経営が圧迫することのないよう、計画的な起債を実施していきます。
 また、⑤料金回収率109.42%（類似団体平均98.66%）、⑥給水原価118.29円（類似団体平均178.59円）からは、適切な料金体系の中で経営ができていていることが示されています。

2. 老朽化の状況について

老朽管更新事業を継続的に実施してきた結果、有形固定資産減価償却率は、38.90%（類似団体平均48.97%）と、問題のない状況です。ただし、今後、施設の老朽化対策は中長期的な課題といえます。アセットマネジメント等を通じて、これらの実態を的確に把握するとともに、安心・安全の確保及び財政的に持続可能な水道経営を目指して、長寿命化、更新等の財源の確保と予算執行の平準化に努める必要があります。

全体総括

過去長期間上昇傾向にあった本町の人口は、現在、減少傾向に転じており、今の料金体系で長期間安定経営を継続することについては慎重に考えるべきと判断しています。引き続き、料金改定の検討など経営上必要な収益の増加手段を模索していく必要があります。